

第72回 福島県PTA研究大会 郡山・田村大会 《第1次案内》

1 趣 旨

自然災害、感染症、国家間の紛争、高度な情報化、人工知能の発達など、めまぐるしく変化する社会環境の中において、これからの子どもたちは、たくましく生きていくことが求められている。予測困難といわれる時代の中、次代を担う子供たちの笑顔と明るい未来のために、あらためて「人と地域」の大切さを認識し、これからのPTAが取り組むべきことについて、市制100周年を迎えた郡山市において、共に考え、話し合う意義ある大会にしたいと願い主題を設定した。

【大会主題】

楽都郡山で奏でる、人と地域のハーモニー

～予測困難な時代を笑顔でたくましく生きる子どもたちのために～

- 2 主 催 福島県PTA連合会
- 3 共 催 郡山市教育委員会 田村市教育委員会 三春町教育委員会
(予定) 小野町教育委員会
- 4 後 援 福島県教育委員会 福島県市町村教育委員会連絡協議会
(予定) 郡山市 田村市 三春町 小野町
福島県小学校長会 福島県中学校長会
- 5 主 管 郡山市PTA連合会 田村地方PTA連合会
- 6 期 日 令和6年10月12日(土)
- 7 会 場 けんしん郡山文化センター
- 8 参加者 福島県内PTA会員及び関係者(約1,200名)
- 9 参加費 2,500円

10 日程

12:30	13:00	13:30	14:40	15:00	16:30
受付	全体会	記念講演	移動	分科会 第1分科会（健全育成） 第2分科会（特別支援） 第3分科会（家庭教育）	

11 記念講演 演題 「星とスマレを見つめて」

講師 玄侑宗久（げんゆう・そうきゅう）氏

[プロフィール]

1956年福島県三春町生まれ。安積高校卒業後、慶応義塾大学中国文学科卒。さまざまな仕事を経験したあと、京都天龍寺専門道場に入門。

2000年「水の舳先」が第124回芥川賞候補になり、2001年「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。その後の小説作品に、『アブラクサスの祭』、『化蝶散華』、『アミターバ 無量光明』、『リーラ 神の庭の遊戯』、『テルちゃん』（以上、新潮社）、『御開帳綺譚』、『龍の棲む家』（文藝春秋）、『祝福』（筑摩書房）などがあり、ほかに仏教や禅にまつわるエッセイや対談本も多い。2007年「般若心経 いのちの対話」で第68回文藝春秋読者賞を受賞。近著にエッセイ集『無功德』（海竜社）、呼吸についての五木寛之氏との対談『息の発見』（平凡社）、『禅のいろは』（PHP）などがある。2008年福聚寺第35世住職。また妙心寺派現代宗学委員。福島県警通訳。福島県立医大病院、経営審議会委員。2009年4月より京都・花園大学文学部仏教学科客員教授。2011年4月から、新潟薬科大学客員教授（応用生命科学部）。2009年妙心寺派宗門文化章を受賞。2011年東日本大震災被災青少年支援のための「たまきはる福島基金」理事長。2012年京都大学こころの未来研究センター連携委員。また、震災後立ち上げた三春実生プロジェクト副代表。第46回仏教伝道文化賞、沼田奨励賞を受賞。同年10月より、鈴木大拙館アンバサダー。2014年「光の山」にて平成25年度（第64回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2015年「東天紅」が第41回川端康成文学賞最終候補作となる

12 参加申し込みについて

参加申し込み及び大会の詳細につきましては、第二次案内にてお知らせします。

第72回福島県PTA研究大会郡山・田村大会

(1) 準備委員会事務局（令和6年3月まで）

郡山市立郡山第六中学校 〒963-8041 郡山市富田町字十文字2番地
電話：024-951-0264 FAX：024-951-6424

(2) 実行委員会事務局（令和6年4月より）

郡山市立郡山第一中学校 〒963-8862 郡山市菜根二丁目1番31号
電話：024-932-5313 FAX：024-932-5312